

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
英語	英語コミュニケーションⅠ	3単位	1		
教科書	CREATIVE English CommunicationⅠ				
副教材等	予習・授業ノート(第一学習社)、CREATIVE English CommunicationⅠ WORKBOOK(第一学習社)、ALL EARS STANDARD(美誠社) 英単語ターゲット1400(旺文社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど十分理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどある程度理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど理解できていない。
②思考力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を十分に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力がある程度身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けていない。
③学びに向かう力	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を十分に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度をある程度身に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けていない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	オリエンテーション Lesson1 Achieving Your Dreams	・大谷翔平選手のメッセージ ・to不定詞、動名詞	10	○	○	○	・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 ・to不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮してわかりやすい「目標達成シート」を書こうとしている。
5	Lesson1 Achieving Your Dreams	・大谷翔平選手のメッセージ ・to不定詞、動名詞	10	○	○	○	・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 ・to不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮してわかりやすい「目標達成シート」を書こうとしている。
6	Lesson 2 What Do You Eat for Lunch?	・日本および世界の「食文化」 ・現在完了形、分詞の形容詞用法	10	○	○	○	・日本および世界の「食文化」についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、コンテストに応募することを想定した卒論について説明することができる。 ・現在完了形、分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。 ・Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。
7	Lesson 3 The Evolution of the Cellophone	・携帯電話の発展について ・現在完了進行形、関係代名詞	10	○	○	○	・携帯電話の発展についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、未来の携帯電話を想像し、それについてプレゼンテーションをすることができる。 ・現在完了進行形、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・意味のまとまりに注意して、英文を理解することができる。 ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。
9	Lesson 4 A Healthy Planet	・絶滅危惧種の保護のあり方について ・助動詞+be+過去分詞、It seems that ...	10	○	○	○	・絶滅危惧種の保護のあり方についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り、それを説明することができる。 ・助動詞+be+過去分詞、It seems that ...について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ディスコースマーカーに注意して、英文を理解することができる。 ・ポスターの構成や作成方法を理解し、聞き手や読み手に配慮して、わかりやすくポスターを作成し、それを説明しようとしている。
10	Lesson 5 The Adventures of Curious George's Creators	・『おさるのジョージ』の作者の人生について ・知覚動詞+使役動詞+O+C(=原形不定詞)、関係代名詞what	10	○	○	○	・『おさるのジョージ』の作者の人生についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 ・知覚動詞+使役動詞+O+C(=原形不定詞)、関係代名詞whatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英語の音の変化に注意して、英文を理解することができる。 ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。
11	Lesson 6 Messages about Happiness from Jose Mujica	・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージ ・過去完了形・過去完了進行形、S+Y+O(=疑問詞)	10	○	○	○	・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、幸福を感じるべきについて説明することができる。 ・過去完了形・過去完了進行形、S+Y+O(=疑問詞)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・考えや意見をうまく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 ・ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。
12	Lesson 7 To Stop Plastic Pollution	・海洋プラスチック汚染について ・S+Y+it+C+to不定詞、関係副詞	10	○	○	○	・海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 ・S+Y+it+C+to不定詞、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・パラグラフの構成に注意して、英文を理解することができる。 ・ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。
1	Lesson 8 Stories to Be Passed On	・近藤敏子さんのストーリーについて ・仮定法過去、仮定法過去完了	10	○	○	○	・近藤敏子さんのストーリーを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。 ・仮定法過去、仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・キーワードや言いかけ表現に注意して、英文を理解することができる。 ・ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。
2	Lesson 9 Will Human Beings and AI	・将来の人間とAIのあるべき姿について ・分詞構文(現在分詞)、関係詞の非制限用法	10	○	○	○	・将来の人間とAIのあるべき姿についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、人間とAIが共存する将来について説明することができる。 ・分詞構文(現在分詞)、関係詞の非制限用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。
3	Optional Lesson The Safe	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	5	○	○	○	・題材内容とねらいについて、ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話そうとしている。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
外国語	論理・表現Ⅰ	2単位	1		
教科書	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅠ Standard				
副教材等	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅠ Standard ワークブック				
	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅠ Standard 活用ノート				
① 科目の目標(学習指導要領)					
スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことがで					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
主張をその理由や根拠とともに分かりやすく話したり書いたりすることであるが、「話すこと」における、相手の理解や賛同を得るために行うスピーチやプレゼンテーションと、更に自らの主張を相手の主張と対比させながら相手と聴衆を説得しようとするディベート、相手とのやり取りを通して課題解決などを旨とするディスカッションでは、それぞれに適した論理の構成や展開があり、目的や場面、状況などに応じてこれらを活用できるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現する	関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動をやろうとする
自分の過去の経験についてまとめた内容を相手に伝える場合には、叙述文を用いることが多い。一方、客観的な事実や情報を伝える場合には、要点を目的に応じた項目立てをしながら相手に分かりやすいように整理し、概念の定義や具体例などを適宜添えながら情報を詳細に伝える説明文を多く用いることができるようになる。	日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にししながら、情報や自分自身の考えなどを伝える	日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動をやろうとする
「話すこと[発表]」であれば、相手の注意をひきつけ、論点を明確にするための表現やキーワードとなるような表現を繰り返すことなどが有効である。一方、「話すこと[やり取り]」では、より具体的な内容について相手と双方向で情報交換をするため、自分の経験や意見を述べるだけでなく、相手の言うことを確認する、賛成・反対を表明する、反論するなどの表現を効果的に使用することになる。	関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝える	関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動をやろうとする
叙述文は一人称が用いられることが多いが、説明文や論証文では客観性を重んじるため三人称が好まれる傾向がある。叙述文は時間軸に沿った表現を多用するので、過去形や時を表す副詞節や副詞表現などを使うようになる。	日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝える	日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動をやろうとする

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことができる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことがほぼできる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことができない
②思考力 表現力	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えをほぼ書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを書くことができない
③学びに向かう力	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを少しではあるが、引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができず、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができない

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	時間	評価項目	評価のポイント(規準)
				① ② ③	
通年	ワークや活用ノート演習	・問題を読んで解答し、構成、展開、要旨などを的確にとらえる ・語句の意味、用法を的確に理解する。	70	○ ○ ○	積極的にペアワークやグループワークに参加しているか。問題集や活用ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】発表等に備え、協力して準備等をおこなっているか。【思考力 表現力】
4月5月6月	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5	説明・紹介する時を表す(現在・過去・未来) 時を表す(完了形) 能力・許可・義務などを表す 依頼・勧誘や推量などを表す	20	○ ○ ○	積極的にペアワークやグループワークに参加しているか。問題集や活用ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】発表等に備え、協力して準備等をおこなっているか。【思考力 表現力】
7月8月9月	Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10	「～される」を表す 「～すること」などを表す(to do) to do/doを使って表す 「～すること」を表す(d doing/ doneを使って説明する(1)	20	○ ○ ○	積極的にペアワークやグループワークに参加しているか。問題集や活用ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】発表等に備え、協力して準備等をおこなっているか。【思考力 表現力】
10月11月12月	Lesson11 Lesson12 Lesson13 Lesson14 Lesson15	doing/ doneを使って説明する(2) admire most? 人や物について説明する(who, which) 時や場所などについて説明する 比較を表す 仮定を表す	20	○ ○ ○	積極的にペアワークやグループワークに参加しているか。問題集や活用ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】発表等に備え、協力して準備等をおこなっているか。【思考力 表現力】
1月2月3月	パラグラフ・ライティングの基本 ディベートの進め方 ディスカッションの進め方	英語のパラグラフの構成 ディベートの流れ、ディベートでよく使われる表現 ディスカッションの流れ、ディスカッションでよく使われる表現	10	○	ディベートの流れを理解し、相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを伝えることができるか。【学びに向かう力】 ディスカッションの流れを理解し、相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを伝えることができるか。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
英語	英語コミュニケーションⅡ	3単位	2		
教科書	CREATIVE English Communication Ⅱ				
副教材等	予習・授業ノート(第一学習社)、CREATIVE English Communication Ⅱ WORKBOOK(第一学習社)、ALL EARS STANDARD(美誠社) 英単語ターゲット1400(旺文社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど十分理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどある程度理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど理解できていない。
②思考力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を十分身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力がある程度身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けていない。
③学びに向かう力	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を十分身に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度をある程度身に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けていない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	英時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4	Lesson 1 Voice for Action	・国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージ ・さまざまな助動詞、分詞構文(現在分詞)	10	○ ○ ○	・国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分が模範サミットに参加したと想定して、環境保護のためにしたい活動を説明することができる。 ・さまざまな助動詞、分詞構文(現在分詞)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英文の内容に応じた音読をすることができる。 ・模範サミットの特徴を理解し、聞き手に配慮して、環境保護のためにしたい活動について説明しようとしている。
5	Lesson 2 Aren't You Sleepy?	・動物の睡眠について ・受け身の分詞構文、副詞節中の(S+be)の省略	10	○ ○ ○	・動物の睡眠について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣について説明することができる。 ・受け身の分詞構文、副詞節中の(S+be)の省略について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・未知語の意味を推測して、英文を理解することができる。 ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく自分の睡眠習慣について説明しようとしている。
6	Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience	・アスリートのスピーチに見られる特徴について ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了	11	○ ○ ○	・アスリートのスピーチに見られる特徴について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(例挙)に注意して、英文を理解することができる。 ・スピーチにおける注意点を理解しようとしている。 ・効果的なスピーチにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくスピーチをしようとしている。
7	Lesson 4 Are You Prepared?	・自然災害と防災について ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞	10	○ ○ ○	・自然災害と防災について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(例示・追加)に注意して、英文を理解することができる。 ・効果的なプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。
9	Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony	・日本および世界の元号について ・関係副詞の非制限用法、同格のthat	11	○ ○ ○	・日本および世界の元号について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・日本の俳句の英訳をすることができる。 ・関係副詞の非制限用法、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・同格表現や言い換え表現に注意し、英文を理解することができる。 ・ディスカッションの役割分担を理解しようとしている。 ・読み手に配慮し、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。
10	Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste	・フードロス・フードウェイストの問題について ・完了形の分詞構文、複合関係詞	10	○ ○ ○	・フードロス・フードウェイストの問題について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 ・完了形の分詞構文、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(対照)に注意して、英文を理解することができる。 ・英語のアンケートの構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。
11	Lesson 7 Living with Adventure	・南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについて ・さまざまな仮定法、否定語+倒置	10	○ ○ ○	・メッセージについて的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 ・さまざまな仮定法、否定語+倒置について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・やり取りをうまく継続させることができる。 ・プレゼンテーションの注意点を理解し、聞き手に配慮し、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。
12	Lesson 8 Power to the People!	・電池の発展について ・独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法	11	○ ○ ○	・電池の発展について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創造的であるためには何が必要かを説明することができる。 ・独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章展開(時間的順序)に注意し、英文を理解することができる。 ・ユーザーでニュースの情報を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、創造的であるためには何が必要かをわかりやすく説明しようとしている。
1	Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet	・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について ・前置詞+関係代名詞、強調構文	8	○ ○ ○	・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきかどうかについて、自分の意見を複数のパラグラフで書くことができる。 ・前置詞+関係代名詞、強調構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・パラグラフごとの役割に注意して、英文を理解することができる。 ・ソーシャルメディアの特徴を理解しようとしている。 ・旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきかどうかについて、読み手に配慮して、自分の意見を複数のパラグラフでわかりやすく書くこととしている。
2	Optional Lesson 1 May I Have Your Autograph?	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝える	8	○ ○ ○	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。
3	Optional Lesson 2 Information Please	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝える	6	○ ○ ○	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
外国語	論理・表現Ⅱ	3単位	2		
教科書	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard				
副教材等	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard ワークブック				
	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard 活用ノート				
① 科目の目標(学習指導要領)					
① 話すこと(やり取り): 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合えるようにする。					
② 話すこと(発表): 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。					
③ 書くこと: 日常的な話題について多様な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で伝えることができるようにする。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
適切な発音で、文法・表現を正しく使って話すことができる。	相手に適切に質問や応答をすることで、必要な情報の交換ができる	自分の考えをクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとしている。
適切な語彙、文法、表現を使って正しく書くことができる。	情報・考えの流れや論理に矛盾や飛躍がなく伝えることができる	相手の考えを理解し、協力してコミュニケーションを図ろうとする姿勢がある。
	教科書のテーマに沿って、十分な情報や自分の考えを書くことができる	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことがほぼできる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことができない
②思考力 表現力	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えをほぼ書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを書くことができない
③学びに向かう力	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを少しではあるが、引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができず、相手の考えを積極的に引き出そうとすることがない

年間指導計画と観点別評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
通年	ワークや活用ノート演習	・問題を読んで解答し、構成、展開、要旨などを的確にとらえる ・語句の意味、用法を的確に理解する。	##	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
4月 5月 6月	Part 1 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5	さまざまな時を表す 可能・義務・必要などを表す 「～される」を表す 「～すること」などを表す (to do / doing / doneを使って説明する	20	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
7月 8月 9月	Lesson6 Lesson7 Lesson8 Part 2 Lesson1 Lesson2	人・物・時や場所などについて説明する 比較を表す 仮定を表す 感謝する／謝罪する 心配を述べる／励ます／感想を述べる	30	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
10月 11月 12月	Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7	提案する／勧誘する／好みを述べる 助言する／忠告する 依頼する 賛成する／反対する 意見を求める／意見を述べる	30	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
1月 2月 3月	パラグラフの構成① Illustration / Listening パラグラフの構成② Comparison / Contrast パラグラフの構成③ Cause and Effect パラグラフの構成④ Time order	例示・列挙 比較・対照 原因・結果 時間的順序・手順	25	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
	探究英語	2単位	2	O群	
教科書					
副教材等	啓隆社Listening Essentials 2 五訂版 数研出版UNITE 英語総合問題集 STAGE 2.5 改訂版				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・Reading, Listeningを繰り返し学び基礎力の定着を図り、Writing, Speakingへと 発展させていきます。 ・共通テストを見据えた様々な出題形式に対応する力を育みます。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
・英検準2級～2級リスニング第1部程度であれば概要を理解することができる	・収集した情報やアイデアを色々な観点から整理し、話したり、書いたりして伝えることができる	・積極的に言語活動を行うことができる。
・英検準2級～2級レベルの比較的短い英文を初見で読むことができ、概要を理解したり、必要な情報を得ることができる	・ペアやグループにおいて、相手の話に対する意見を聞いて、賛成、反対の立場を明確にし、理由を述べるができる	・コミュニケーションを継続させようとしている。
・学習する語彙、文法の用法、構文の働き等を理解することができる。	・社会生活に関わる様々な話題について、段落構成を意識しながらまとまった量の英文を書くことができる	・上記事項の準備に真剣に取り組もうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目	①	②	③	評価のポイント(規準)
4月	Lesson1	リーディングジャンル「会話」 文法：文型	4	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
5月 6月	Lesson2 Lesson3	リーディングジャンル「生物」 「歴史」 文法：時制	7	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
6月	Lesson 4	リーディングジャンル「社会」 文法：助動詞	6	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
7月	Lesson 5	リーディングジャンル「自然 (グ ラフ) 」 文法：受動態	7	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
8月	Lesson 6	リーディングジャンル「情報科 学」 文法：不定詞、動名詞	6	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
9月	Lesson 7	リーディングジャンル「水産・海 洋」 文法：不定詞、動名詞	7	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
10月	Lesson 8、9	リーディングジャンル「観光 (広 告文) 」「食物」 文法：分詞構文、準動詞	7	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
11月	Lesson10	リーディングジャンル「社会 (グ ラフ) 」 文法：比較	7	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
12月	Lesson11	リーディングジャンル「教育 (メール) 」 文法：関係詞	5	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
1月	Lesson12	リーディングジャンル「食物」 文法：関係詞	5	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
2月	Lesson13	リーディングジャンル「生活 (ウェブサイト) 」 文法：仮定法	5	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)
3月	Lesson14	リーディングジャンル「環境 (グ ラフ) 」 文法：否定、倒置、強調、同格	4	○	○	○		リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度 (提出用サ ポートノート、ペアワークでの取り組み状況)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
英語	英語コミュニケーションⅢ	3単位	3	クラス	
教科書	CREATIVE English Communication Ⅲ（第一学習社）				
副教材等					
① 科目の目標（学習指導要領）					
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や特徴、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	確認テストや小テストで概ね8割以上の成績	同左概ね3割以上8割未満の成績	同左3割に満たない成績
②思考力 表現力	パフォーマンステスト・英作文で概ね8割以上の成績	同左概ね3割以上8割未満の成績	同左3割に満たない成績
③学びに向かう力	課題等の提出物が10割	同左5割以上の提出	同左5割に満たない

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	英時	評価項目	評価のポイント(標準)
				① ② ③	
通年	英単語ターゲット1400、毎週ごと小テスト、年5回の英単語コンクール	左記の単語帳より毎週50単語小テストにより出題する。		○	
4、5、月	Lesson1 Lesson2	・日本と世界の高速鉄道の発達について理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・世界の水問題を解決しうる日本の技術について内容を整理して伝えることができる	18	○ ○ ○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
6、7、月	Lesson3 Lesson4	・アスリートが発する社会的なメッセージについてその内容を整理して伝えることができる。 ・赤ちゃんの言語習得について内容を整理して伝えることができる。	22	○ ○ ○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
8、9、10、月	Lesson5 Lesson6	・社会のデジタル化についてその内容を整理して伝えることができる。デジタル文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べるができる。 ・人類と病気の戦いの歴史についての確に理解し、その内容を伝えることができる。	30	○ ○ ○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
11、12、1、月	Lesson7 Lesson8	・スポーツ栄養についての確に理解しその内容を整理して伝えることができる。 ・橋の構造と役割について自分の考えを説明することができる。	20	○ ○ ○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
英語	応用英語Ⅰ・S	3(E1は2)	3年次	D1,D2,D3,E1	
副教材等	「Rapid Reading Level3」 「共通テスト英語 リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10」 「大学入試共通テスト 英語(リーディング)実践模試 Final Spurt80」				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・読解や音読の練習を通して、特に「読む力」「理解する力」を身に付け、大学入試共通テストのリーディング問題に対応できる能力を養う。 ・様々な分野の英語長文に触れ、その内容や表現に慣れ、大学入試共通テストのリーディング問題に対応できる能力を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
基本的な英文を理解できる	様々な英文を読むことにより内容を理解する力を身につけることができた	受験に向け覚えておきたい英単語小テストへの取り組み状況
問題の支持や、選択肢などの英文を読みながら素早く理解できる	速読教材を読むことにより、読解力と速読力が高まった。	異なる文化に興味を持ち理解しようとする
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解できた	様々な問題を読むことにより、様々な文化や考え方が理解できた。	復習に手をかけているかを課題の提出状況により判断します

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	英時 ()の 数は 2単位	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
前期	Rapid Readingと Tactics 10	毎活動ごと計時をして時間内で英文を読み解答を完成させる習慣を身に付ける	48 (34)	○	○	○	上記の3観点について主に購読の活動と単元テストにより評価します
後期	Final Spurt80	実際の共通テストに対応した問題に取り組むことで限られた時間を有効に活用する習慣を身に付ける	42 (26)	○	○	○	上記の3観点について主に購読の活動と単元テストにより評価します

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
	英語研究	2単位	3年次	E1	
教科書					
副教材等	・NEWSBRAKS for STANDARD English Learners 2023 (エミル出版) ・Aim HighVol.2 (美誠社) ・Listenigb Essentials3 (啓隆社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
①英文読解を通じて、言語や文化に対する理解を深めるとともに、高度な読解力とリスニング力を身につける。 ②時事問題や世界のニュース記事を英文で読み、地球や世界の現状の理解を深め、未来について考えをもったり、意見したりする力を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
英語によるコミュニケーションに必要な基本的知識、語彙や文法を習得した	関心あることや経験について述べることができる	英語コミュニケーションに必要な基本的知識、語彙や文法を習得しようとした
英検2級レベル以上の英文を初見で読んで概要を理解し、必要な情報を得ることができた	与えられたテーマについて意見を述べるができる	異なる文化に興味を持ち、理解しようと努力している
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解しながら会話を楽しむことができる	様々な問題を読むことにより、多様な文化や考え方が理解できる	積極的に英語でコミュニケーションを図ろうと努力している
世界の時事問題や多様な課題に興味を持ち、自らの考えを意見することができる。	文章構成を意識して100語程度の英文のを書くことができる	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施回	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5	1.Sports 2.Politics 3.Music 4.Society 5.Economy	Half the day in bed! When leaders meet Believe in yourself Fighting for freedom Japan is open again	12	○	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
6 7	6.Energy 7.Technology 9.Environment 10.Space	The future of cars Sustainable Materials Saving the Amazon Aiming for the moon Deep-Sea mining	12	○	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
8 9	1.Dolphins 2.Science Cafe 4.Diet 6.Language 8.History	動物行動学/イラスト・グラフを選ぶ 生涯学習/人物の特徴を的確に把握する 食生活/要旨を的確に把握する 言語/グラフや表の情報を聞き取る 産業革命/情報と資料を組み合わせて判断する	12	○	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
10 11	11.Education 14.Evolution 15.Sun 16.Medical	過保護/会話文の要旨を的確に把握する 人類の進化/条件に基づき複数の情報を比較 太陽と文化人類学/読み上げ文の要旨把握 経口免疫療法/資料を見ながら情報を検索する	14	○	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
12 1	17.Babies 18.Economy 19.Technology 20.Nature	赤ん坊と言語/ 経済政策/聞いた情報をまとめる 人間とロボット/討論の話者の意見を把握する 気候変動/情報を整理しながら聞く	10	○	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト

令和6年度 年間学習指導計画(シラバス案)					北海道北見柏陽高等学校
教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語	ブラクティカルイングリッシュ	2単位	3	C群 E5群	
教科書					
副教材等	美誠社リスニング・エース10 UPGRADED 3訂版 啓隆社Listening Essentials 2.5 五訂版 文英堂2025 大学入学共通テスト英語(リスニング)実戦模試 Final Spurt 30				
(1) 科目の目標(学習指導要領)					
(1)リスニングや音読の練習を通じて、英会話表現、特に「聞く力」を身につけ、大学入学共通テストのリスニング問題に対応できる能力の向上					
(2) 会話表現を学び、その表現を自分自身の会話に応用できる能力の向上					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
基本的な会話表現を理解できた	様々な英語の会話や音声を多く聞くことにより、内容を理解する力が身についた。	英語コミュニケーションに必要な基本的な知識や文法を習得しようと努力した。
関心あることや自分の経験を伝えるための語彙力が身についた	様々な問題を読み、聞くことにより、英語で考え、話そうとする力が身についた。	異なる文化に興味を持ち、理解しようと努力した。
英語の発音、アクセントに留意して聞き、発言できた。	様々な問題を読むことにより、様々な文化や考え方があることを理解できた。	積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする姿勢が身についた。
問題の指示や、選択肢などの英文を読みながら素早く理解できた	速読教材を読むことにより、読解力と速読力が高まった。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記4つの観点のうち3つ以上できた	上記4つの観点のうち3つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記4つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記4つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の					実時	評価項目			評価のポイント(規準)
月	単元名	主な学習(指導)内容				①	②	③	
4月	Lesson1 Lesson9 Lesson17	共通テストの第1問形式に慣れ、正しく聞き取り、選択肢を素早く理解する力を身に付ける	4	○	○	○			語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
5月	Lesson2 Lesson10 Lesson19	共通テストの第2問形式に慣れ、正しく聞き取り、選択肢を素早く理解する力を身に付ける	5	○	○	○			語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
6月	Lesson3 Lesson11 Lesson21	共通テストの第3問形式に慣れ、正しく聞き取り、与えられた図やグラフを見ながら正答を見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
7月	Lesson4 Lesson12 Lesson22	共通テストの第4問A形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
8月	Lesson5 Lesson13 Lesson23	共通テストの第4問B形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
9月	Lesson6 Lesson14 Lesson24	共通テストの第5問形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
10月	Lesson7 Lesson15 Lesson25	共通テストの第6問A形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
11月	Lesson8 Lesson16 Lesson26	共通テストの第6問B形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
12月 1月	Final spurt30	実践問題演習で総合的な実力を身に付ける。30分聴き続ける集中力を養う。	9				○		語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
英語	教養英語	2単位	3	教養英語	
教科書					
副教材等	アクセル英語総合問題集3rd edition course d L・R④				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 様々な文章(論説文・物語文)を通し、内容や構成を的確にとらえる力を身につける。					
(2) 読解に必要なとされる語彙や語法、文法などを理解する。					
(3) 文章の背景にある文化や社会生活などへの理解を深め、より深く作品を理解する態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
各文法項目や単語、本文の内容や構成を深く理解することができる。	書く、または話す活動を通して他者と積極的に英語でのコミュニケーションを行うとともに、英語でのコミュニケーションにおける自身の課題を見出し、言語活動を通して解決に繋げることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を理解しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の観点について、達成ができています	上記の観点について、おおむね達成ができています	Bの基準を満たしていない
②思考力 表現力	上記の観点について、達成ができています	上記の観点について、おおむね達成ができています	Bの基準を満たしていない
③学びに向かう力	上記の観点について、達成ができています	上記の観点について、おおむね達成ができています	Bの基準を満たしていない

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	英検	評価項目	評価のポイント(規準)
通年	問題集演習	・速読問題やリスニングを通じて、英語の長文や音声による情報を適切に捉える力を養う ・既習の文法項目を活用して、自分自身や社会について英語を話したり、書いたりする力を養う	60	① ② ③	問題集の問いに適切に解答ができる【知識・技能】 既習の語彙や文法項目を活用して、話したり、書いたりすることができる【思考・判断・表現】 問題集に真摯に取り組むことができる、積極的に英語で会話をしようとしている